令和元年度　長久手市香流川整備計画

（香流川を活かしたまちづくり）

推進委員会

令和2(2020)年1月20日(月)

長久手市香流川整備計画推進委員会

1. 香流川整備計画の確認について
   - 1-1. 香流川整備のコンセプト
   - 1-2. 重点箇所の抽出
   - 1-3. 継続的な維持管理計画の考え方
   - 1-4. 事業計画工程

2. 今年度までの実施事業の結果について
   - 2-1. 2018年度護岸・河床整備概要
   - 2-2. 2019年度護岸・河床整備区間モニタリング調査
   - 2-3. 公園西駅ロータリー修景
   - 2-4. 香流川植栽整備計画
   - 2-5. 香流川ワークショップ結果
   - 2-6. 香流川の一斉清掃活動・草刈りの実施
   - 2-7. 愛知県実施事業

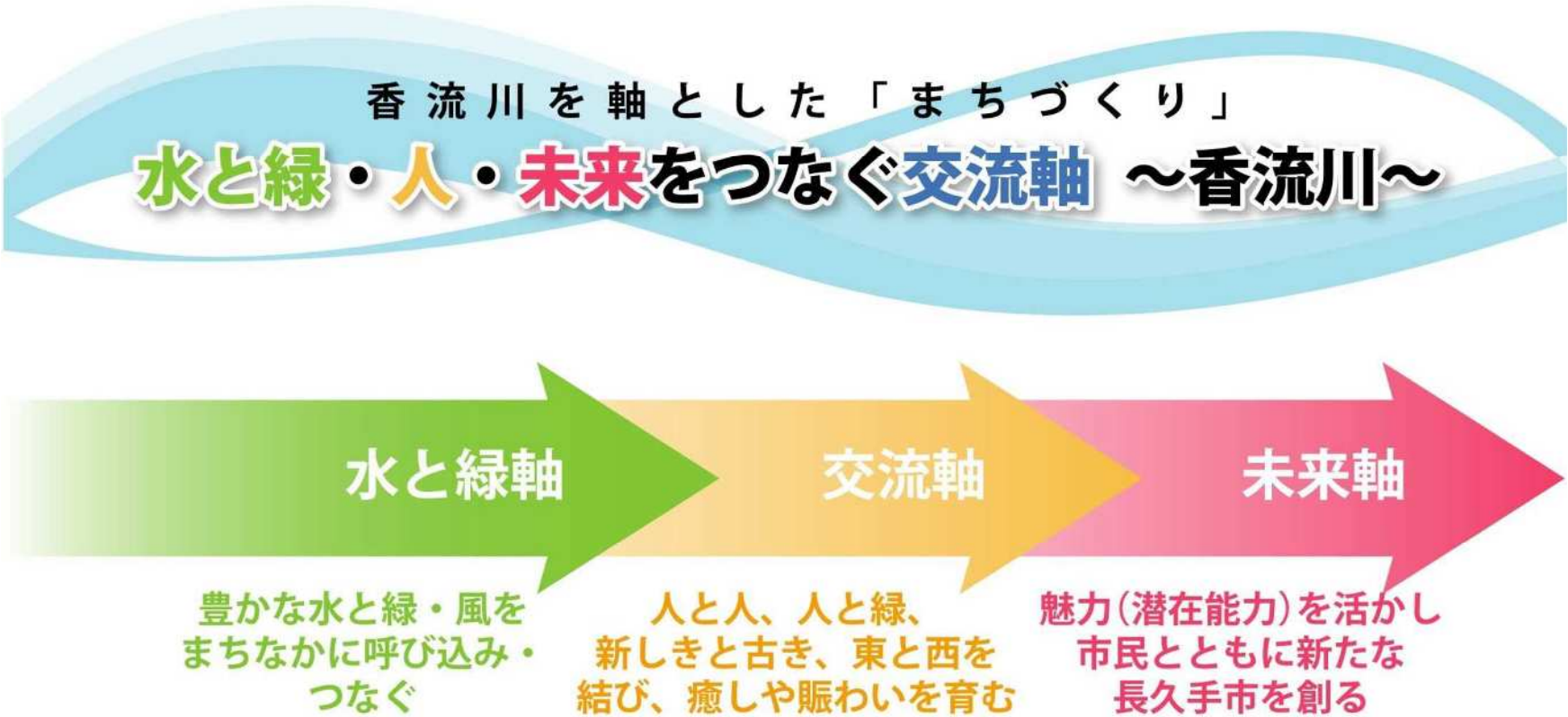
3. 今年度以降の整備事業に関する計画について
   - 3-1. 河道計画・河床環境計画
   - 3-2. 施工スケジュール（案）

香流川整備計画
（香流川を活かしたまちづくり）

１．香流川整備計画の確認について

1-1. 香流川整備のコンセプト

①香流川の整備方針・目指す姿

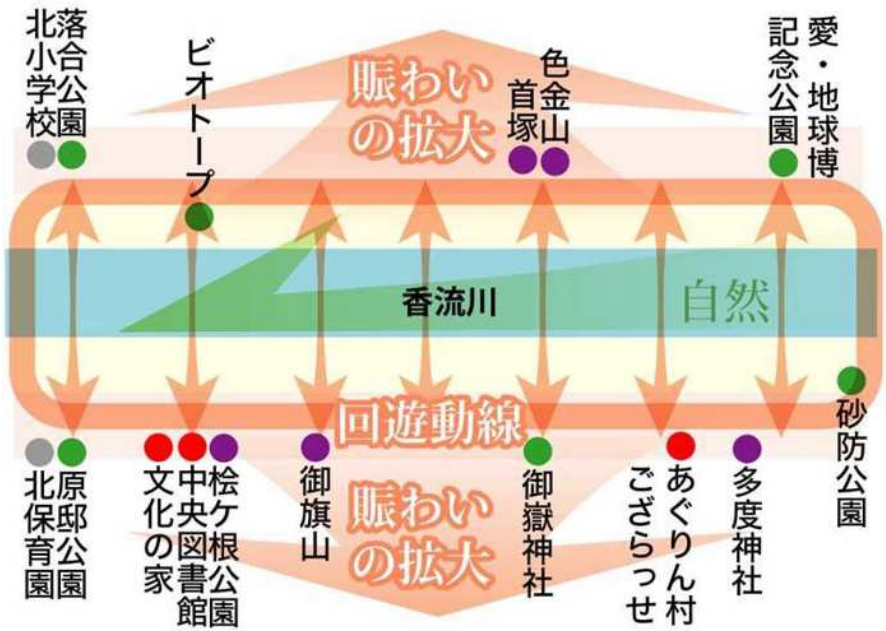


②香流川遊歩道をつなげる

香流川遊歩道をつなげる

溝下橋上流右岸

あぐりん村周辺の左岸の竹林



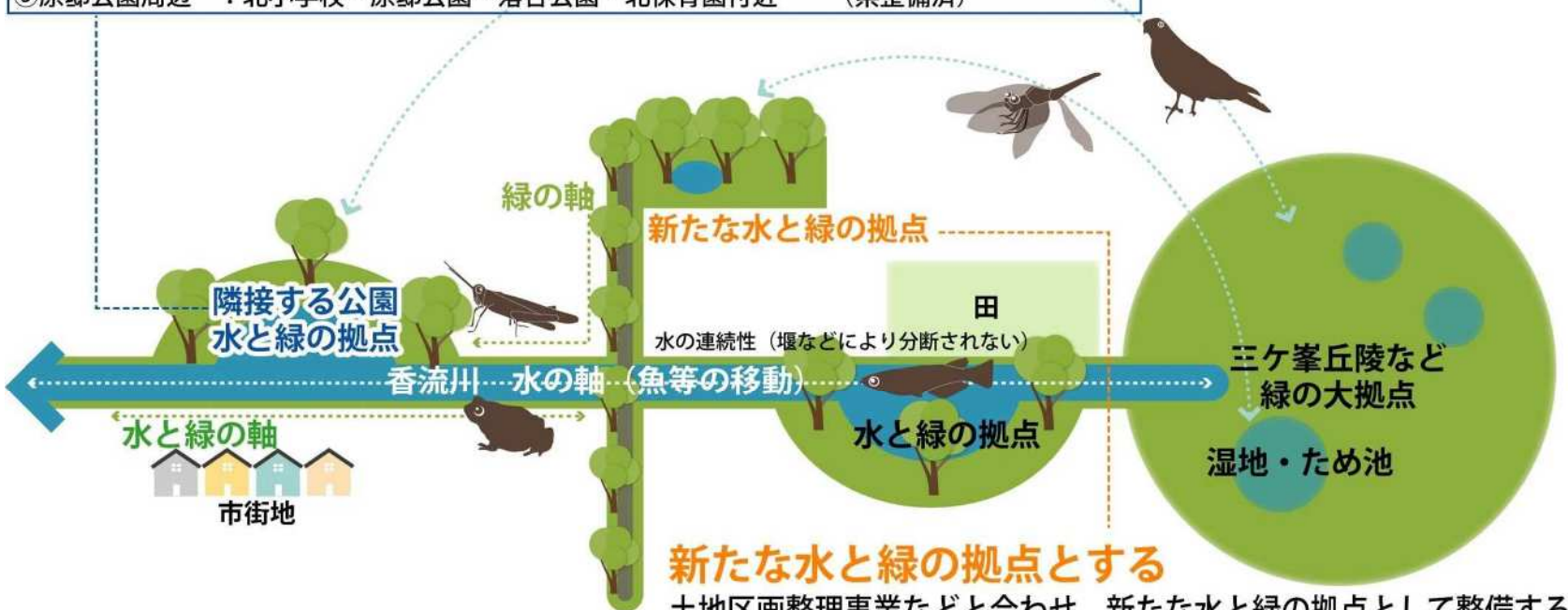
→香流川遊歩道の未整備区間の延伸、
香流川を活かした回遊動線により、市内への賑わいの拡大を図る

③水と緑をつなぐ

沿川の公園や公共施設を取り込む

沿川の公園や公共施設等を取り込み、水と緑の拠点として一体的に整備する。

①公園西駅周辺	：公園西駅周辺土地区画整理事業の調整池・公園等	（土地区画整理事業内）
②香流川中上流部	：あぐりん村～ライスセンター付近の香流川遊歩道	（市管理）
③岩作橋周辺	：岩作橋下流落差工～南島橋付近の竹林・河畔林等	（県整備）
④石田橋周辺	：石田橋上流ビオトープ・桧ケ根公園・文化の家付近	（県整備済）
⑤原邸公園周辺	：北小学校・原邸公園・落合公園・北保育園付近	（県整備済）



新たな水と緑の拠点とする

土地区画整理事業などと合わせ、新たな水と緑の拠点として整備する。

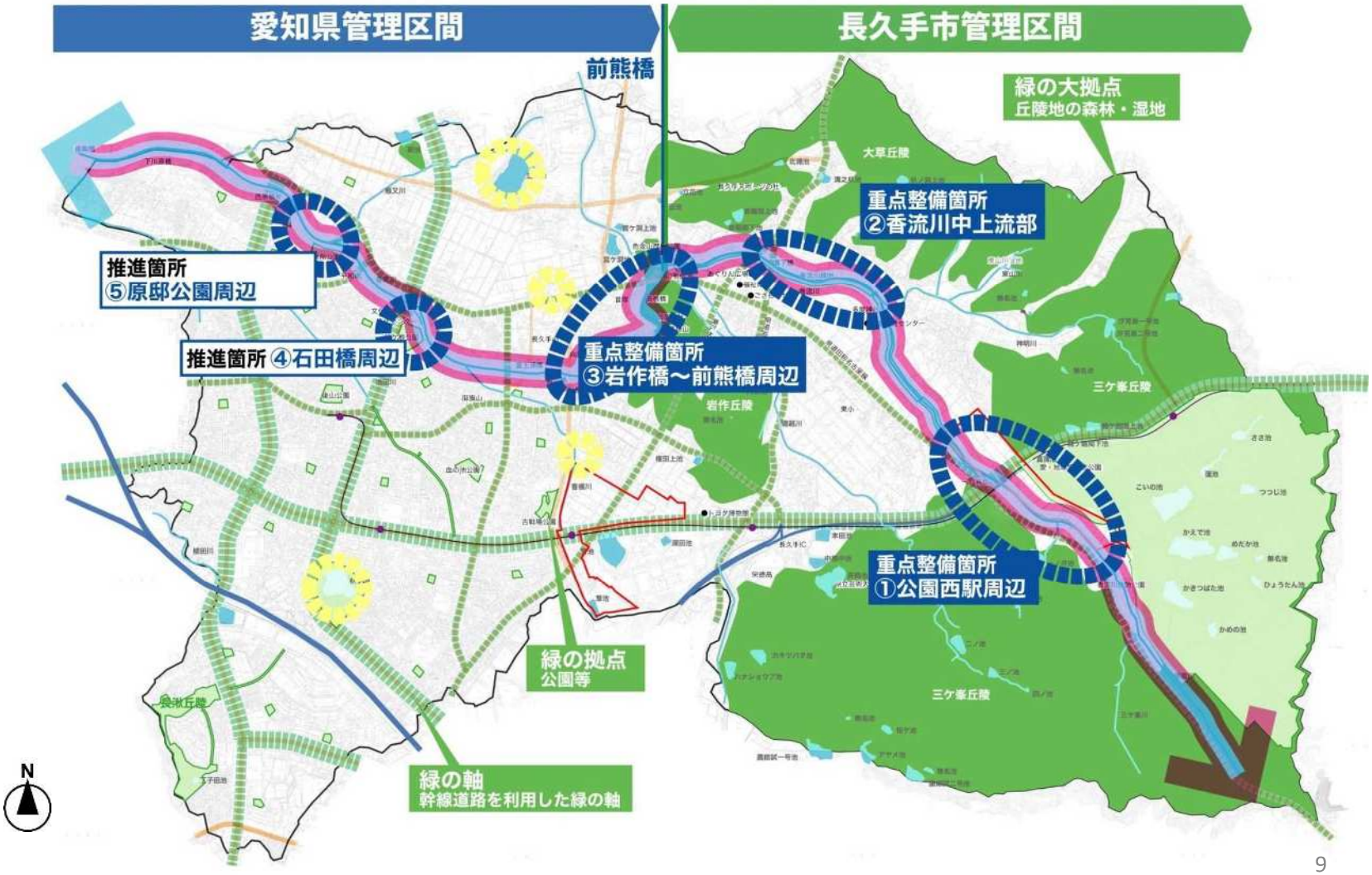
⑥市役所周辺：県道春日井長久手線（植栽済）・長久手市役所駐車場
⑦長久手古戦場駅周辺：長久手中央土地区画整理事業調整池（整備済）

④水と緑をつなぐ

まちづくりにおける重要な基軸
分断された水と緑の軸をつなぐ
→都市計画緑地「香流川緑地」の延伸
延伸
香流川緑地（用途地域）
延伸
遊歩道計画のみ
遊歩道整備済(左岸)
大草丘陵
岩作丘陵
三ケ峯丘陵
三ケ峯丘陵
長池丘陵
トヨタ博物館
N

⑤沿川の公園・公共施設を取り込む

1-2. 重点整備箇所の抽出



1-3. 継続的な維持管理計画の考え方

香流川における市民ボランティア活動や市内のイベント

香流川をきれいにする会

リニモ沿線合同大学祭実行委員

ながくてアートフェスティバル

市民ボランティア団体の活動を市や県が支援
香流川に目を向け、参加しやすい環境づくり

維持管理体制（提案）

支援体制

アドバイザー
（専門家）
- 樹木や草本、河川管理技術、リサイクル手法等の助言・指導
- 希少動植物の保護手法の助言・指導

企業ボランティア
- イベント等への参加
- 市民ボランティアへの支援
- 資金・物品の提供

管理運営体制

河川・公園ボランティア
（市民ボランティア）
- 花植え、除草活動
- 植栽管理
- 河川の希少な動植物の保護
- 市が主催するイベント等の協働運営、手伝い
- 治安、防犯活動
- 自主的なイベント等の実施

愛知県河川課
建設業務
- 建設、整備

管理業務
- 維持管理

長久手市建設部（又は公園指定管理者）

支援・調整
- 市民ボランティアへの支援
- 維持管理や企画運営等の調整
- 維持管理等への助言・指導

運営業務・施設運営
- 利用者サービス（HP、樹木植栽助成等）
- 企画運営（環境学習、イベント等）

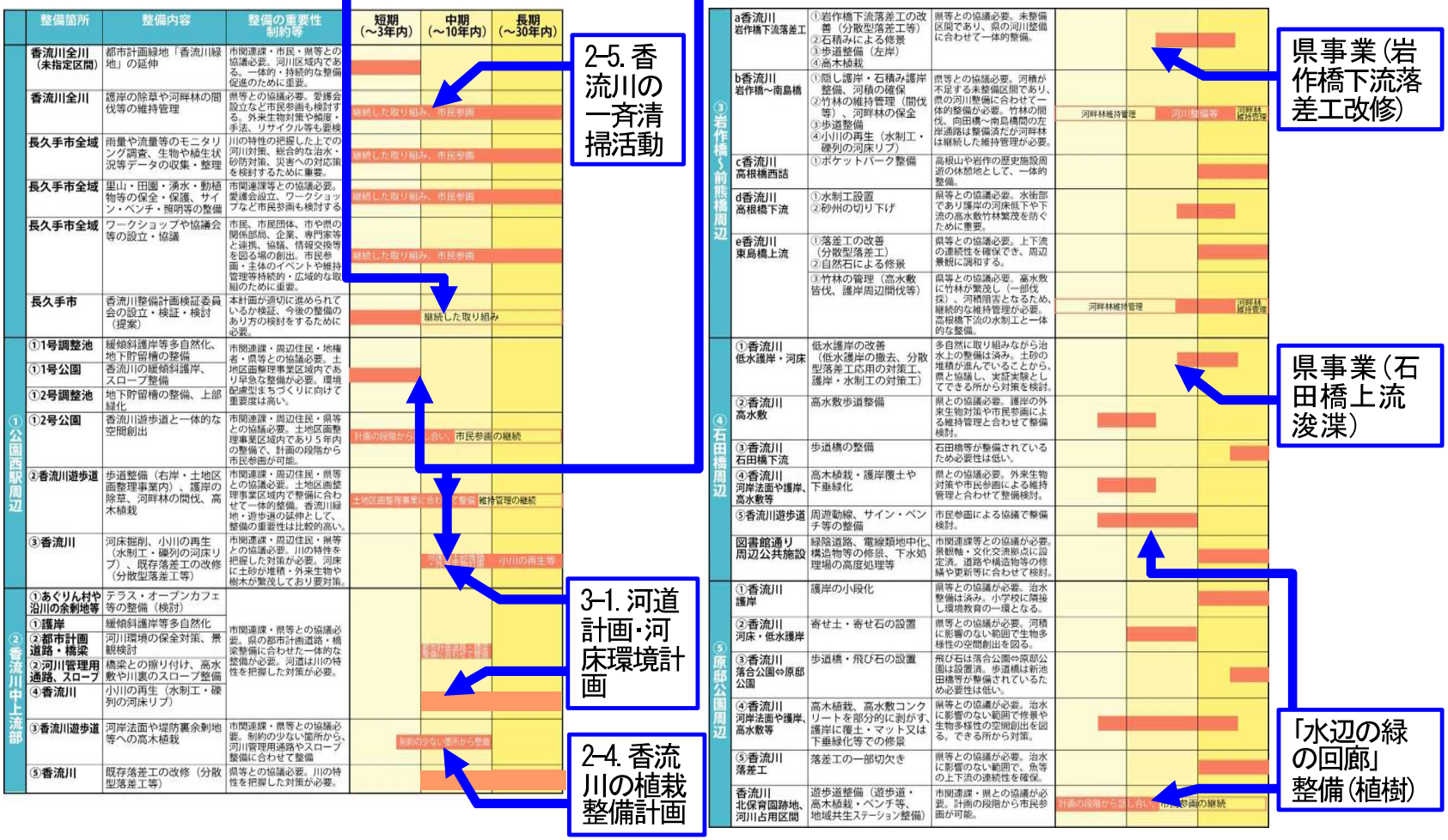
管理業務
- 整備
- 植栽維持管理
- 施設維持管理
- 安全、防犯活動

連絡調整
支援
助言・指導
助言・指導・調整
提案・参加
提案要望
助言指導

1-4. 事業計画工程

令和2年1月20日
令和元年度香流川整備計画推進委員会

2-1. 2018年度護岸・河床整備
2-2. 整備区間モニタリング調査
（香流川護岸近自然川づくり）



2-5. 香流川の一斉清掃活動

3-1. 河道計画・河床環境計画

2-4. 香流川の植栽整備計画

県事業（岩作橋下流落差工改修）

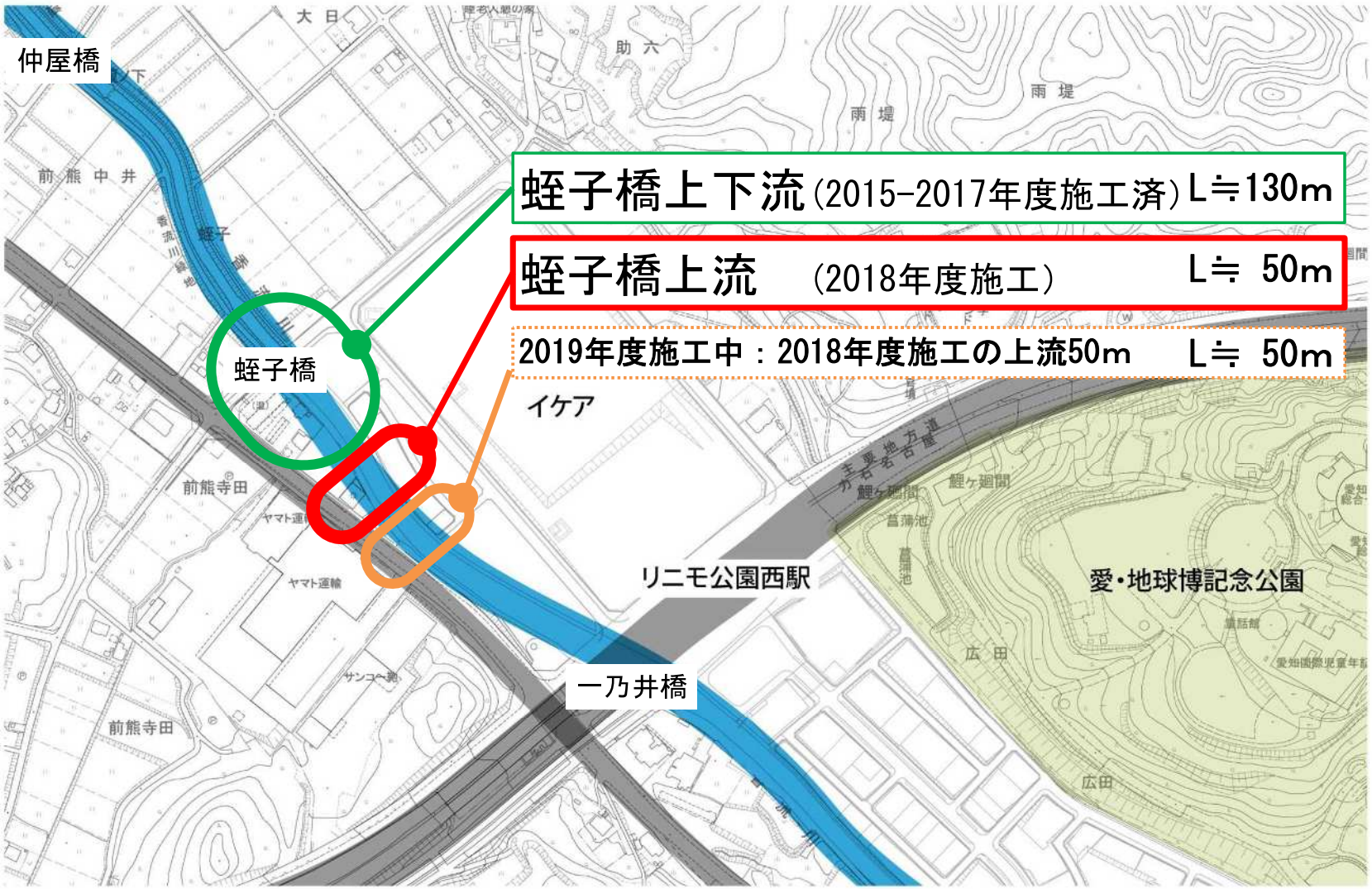
県事業（石田橋上流浚渫）

「水辺の緑の回廊」整備（植樹）

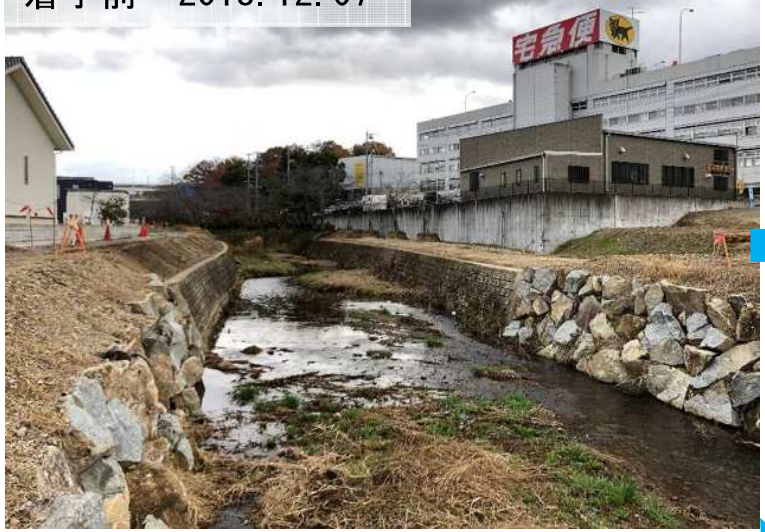
香流川整備計画
（香流川を活かしたまちづくり）

2. 今年度までの実施事業の結果について

2-1. 2018年度護岸・河床整備概要



着手前　2018.12.07



仮設締切（上流部）　2019.01.22

仮設排水処理（施工下流部）　2019.01.22

河床下石積　2019.01.24

右岸完了・左岸施工中　2019.02.22

護岸完成　2019.03.09

分散型落差工床掘

分散型落差工　力石・輪石設置

施工後の状況

2019.03.13　通水状況（水締め）

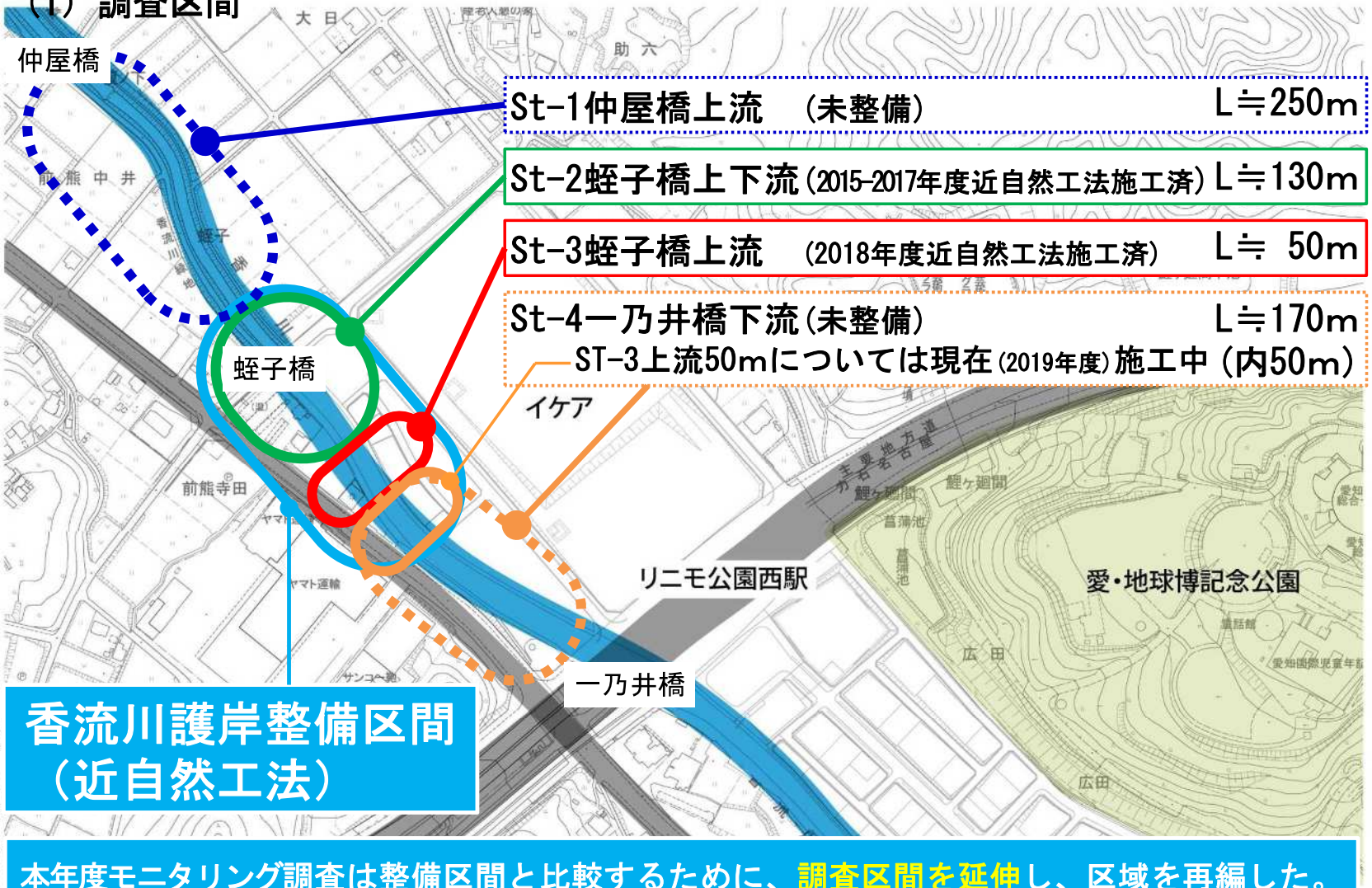
2019.03.18　分散型落差工設置完了

2019.04.29 状況（蛭子橋より上流）

2019.06.14　状況（蛭子橋より上流）

2-2. 2019年度護岸・河床整備区間モニタリング調査

(1) 調査区間



本年度モニタリング調査は整備区間と比較するために、**調査区間を延伸**し、区域を再編した。

(2) St-2蛭子橋上下流（蛭子橋から上流を見る）

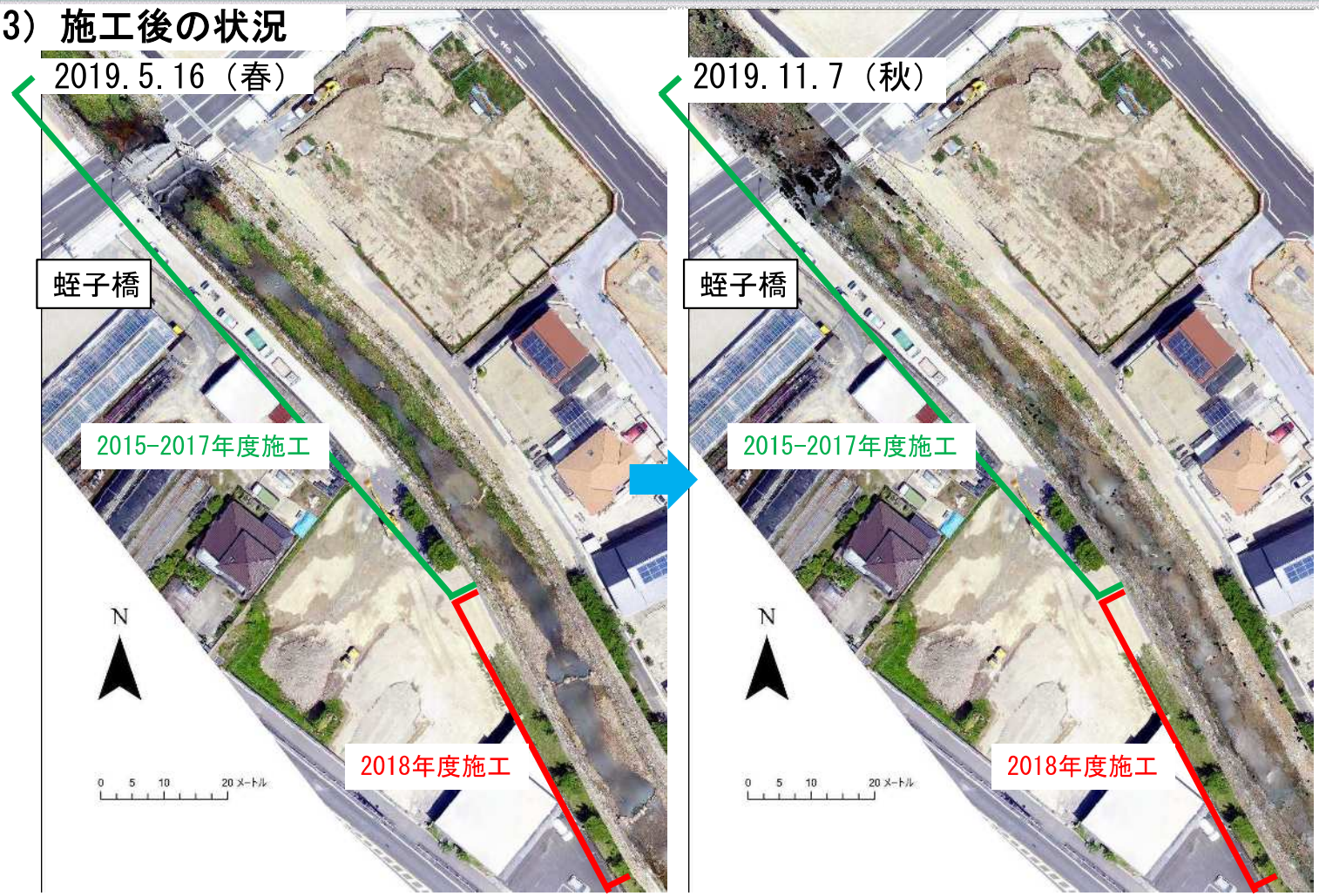
2018モニタリング春：施工3ヶ月後2018.7.2

2018モニタリング秋：施工6ヶ月後2018.10.5

2019モニタリング春：施工1年2ヶ月後2019.06.14

2019モニタリング秋：施工1年6ヶ月後2019.10.30

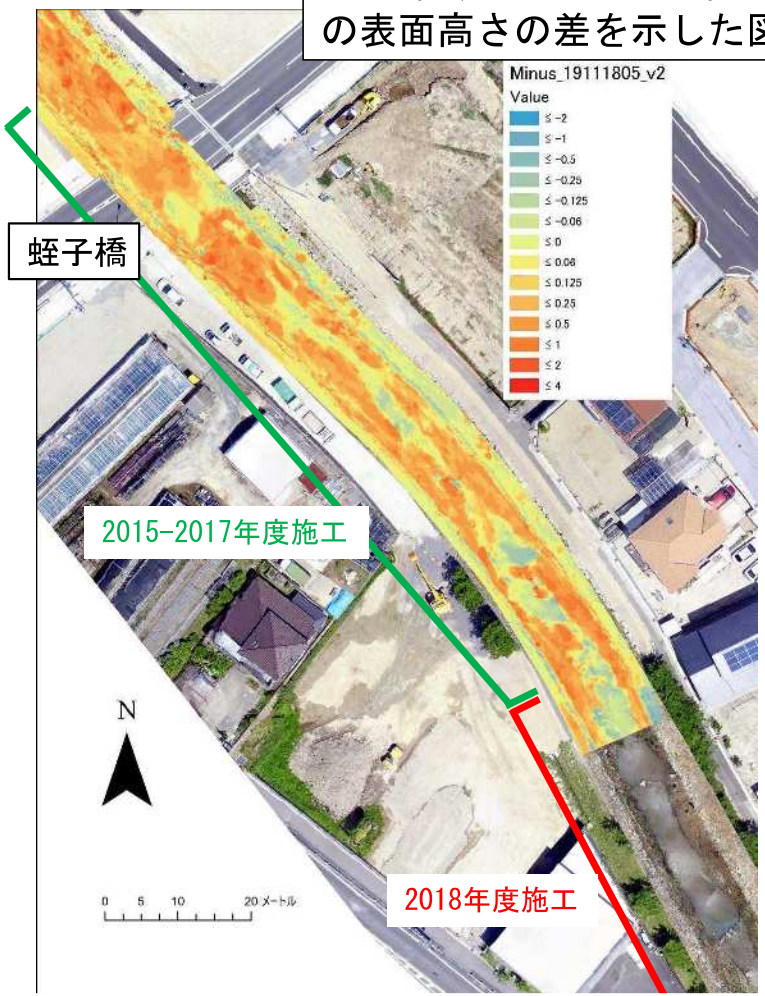
(3) 施工後の状況



みお筋以外の部分は背の高い植物に覆われた。
みお筋の変化は少ないが、草本により開放水域がやや減少している。

（4）河床調査

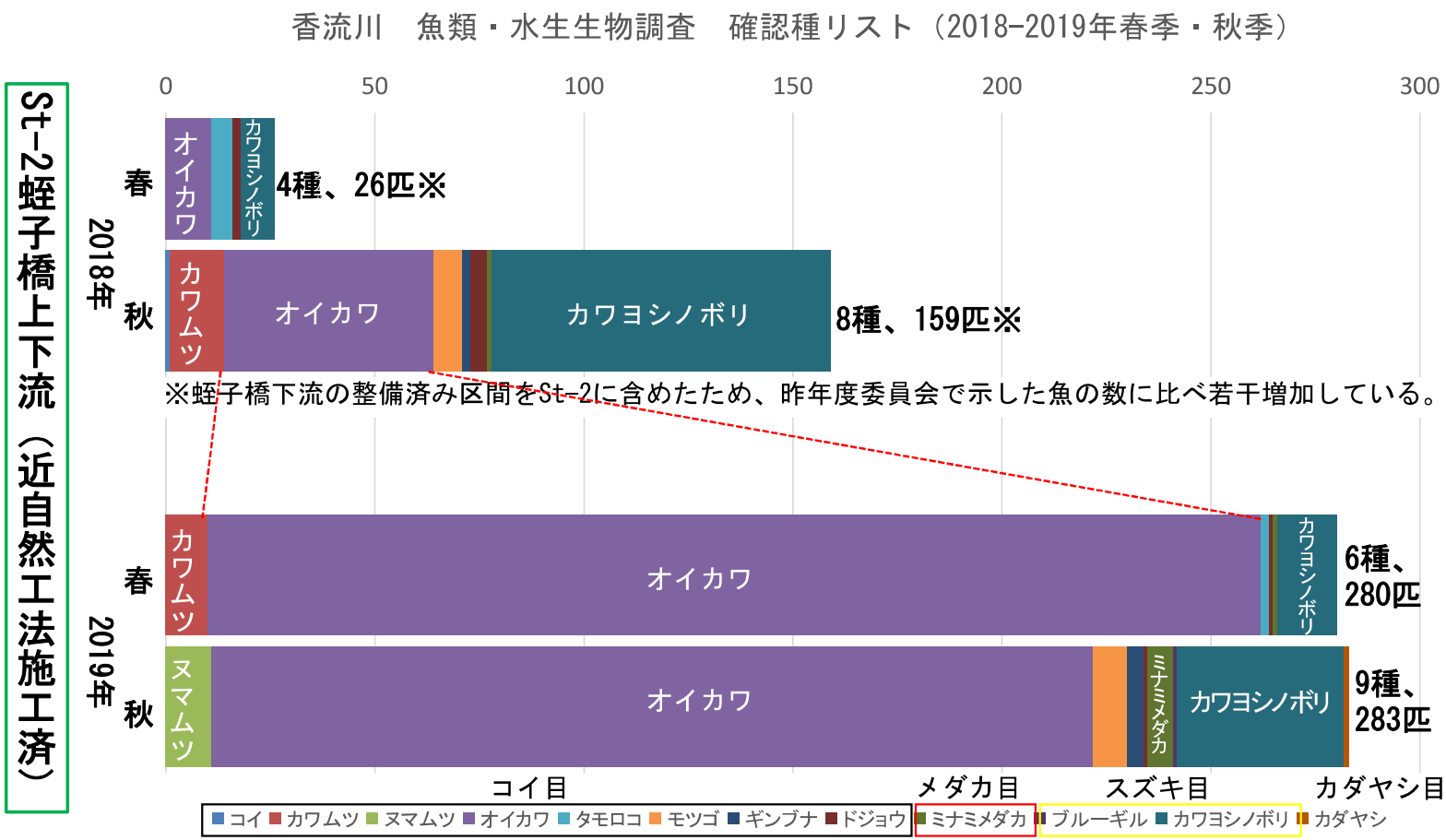
2018年5月16日と2019年11月7日の表面高さの差を示した図



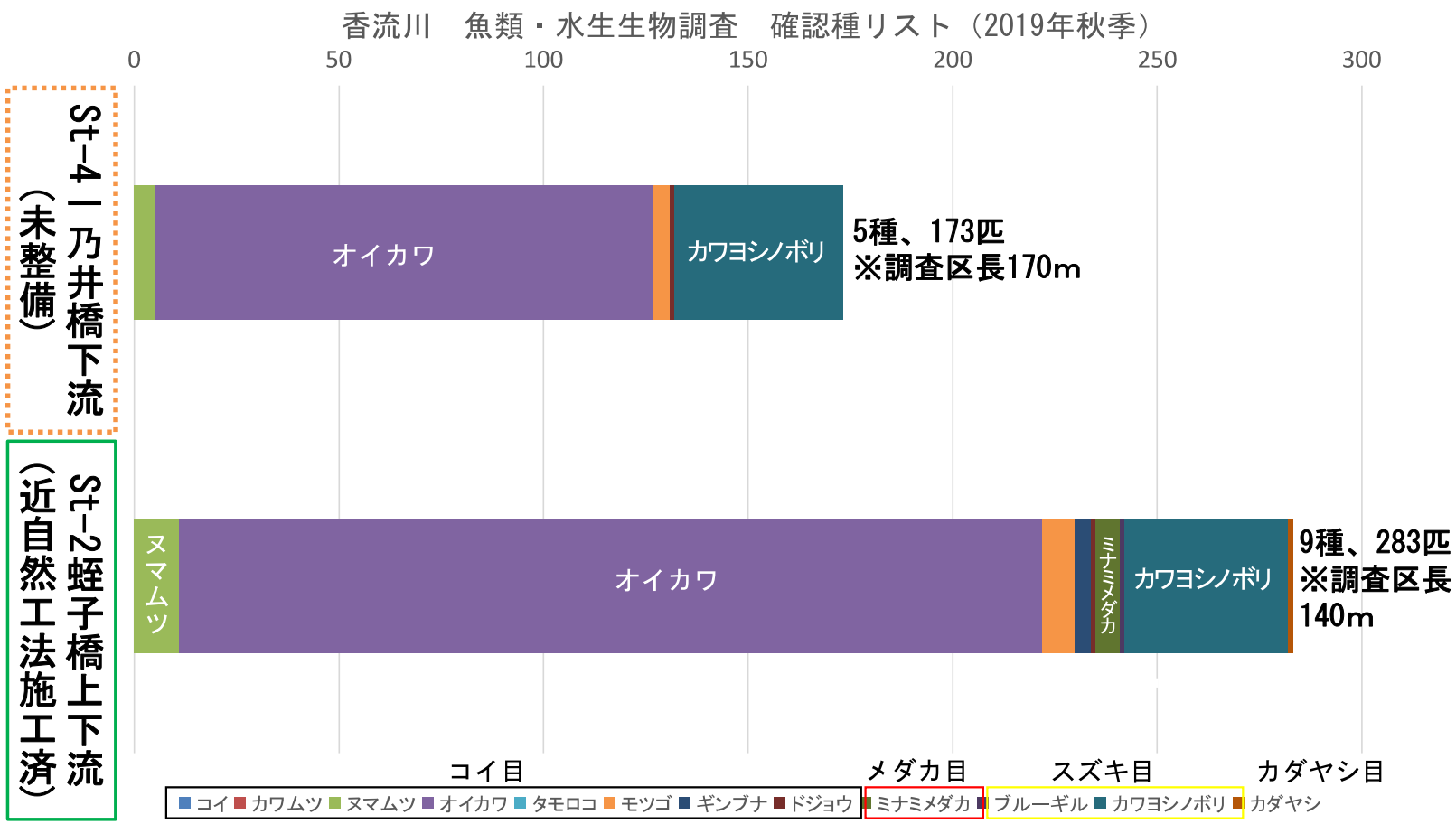
- 植生域の表面高さは、植生の高さを含んでいるため、高くなっている。
- 植生域で堆積傾向、みお筋で洗掘傾向にあり、比高差が拡大しつつある。
- 河床の石組上流で堆積傾向、下流で洗掘傾向にある。
- 砂州の上流側・みお筋側で堆積高が大きい傾向にある。
- 2015-2017年度施工箇所の採取点は砂・細粒分の堆積が進行しつつある。

植生域・河床の石組上流で土砂堆積が進行しつつある。

(5) 魚類調査



昨年度の調査に比べ、確認種はほとんど変わらないが、個体数が大幅に増加した。



未整備区間に比べ、整備区間は確認種・個体数が多く、ミナミメダカも確認され、在来種にとって、良好な環境となっていると予想される。

整備区間でオイカワが大幅に増加し、ミナミメダカも確認された

オイカワ（生物指標「ややきれいな水～きたない水に生息」）
2018年秋50匹→2019年春252匹
（目視750匹程度）

ミナミメダカ（愛知県：準絶滅危惧）
2018年秋1匹→2019年秋6匹

整備区間では外来種コイ等は減少したが、ブルーギル・カダヤシは確認された

コイ（外来種）
2018秋1匹→2019確認されなかった

ブルーギル（外来種）
2018確認されなかった→2019秋1匹

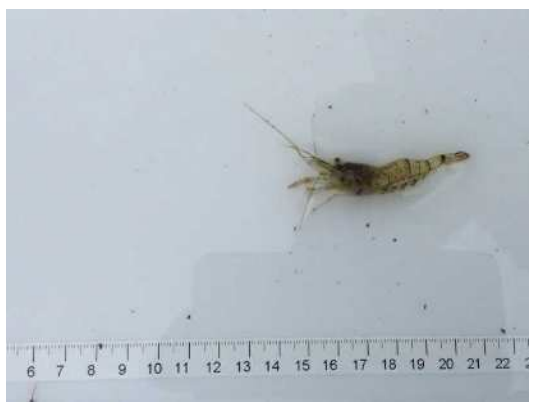
整備区間では、環境省が定める水質指標「Ⅱややきれいな水」　「Ⅲ汚い水」「Ⅳとてもきたない水」に生息する種、外来種も確認された

カワニナ（水質等級「Ⅱややきれいな水」）

環境省全国水生生物調査のページHPより

ミズムシ科（水質等級「Ⅲ汚い水」）

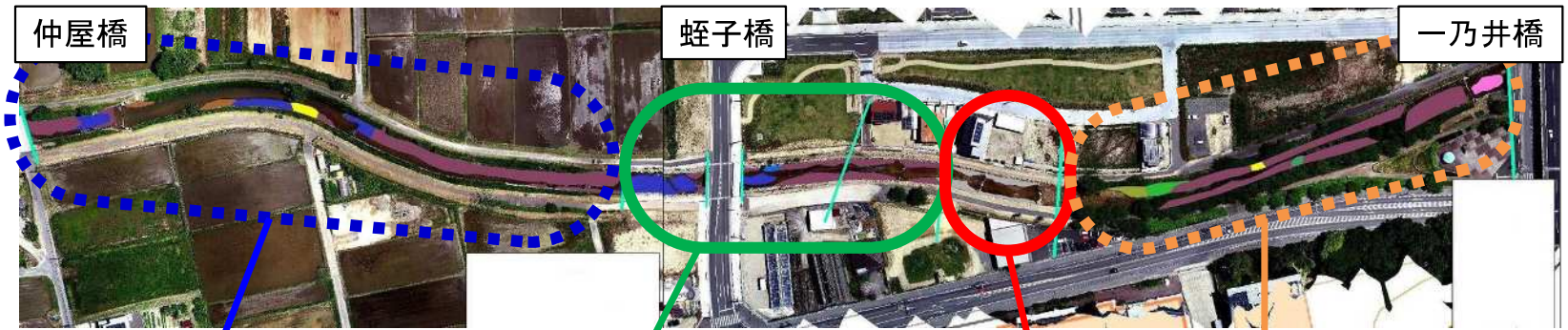
アメリカザリガニ（水質等級「Ⅳとても汚い水」）（外来種）



カワリヌマエビ属（外来種）

（7）植生調査

2019.6.13（春）



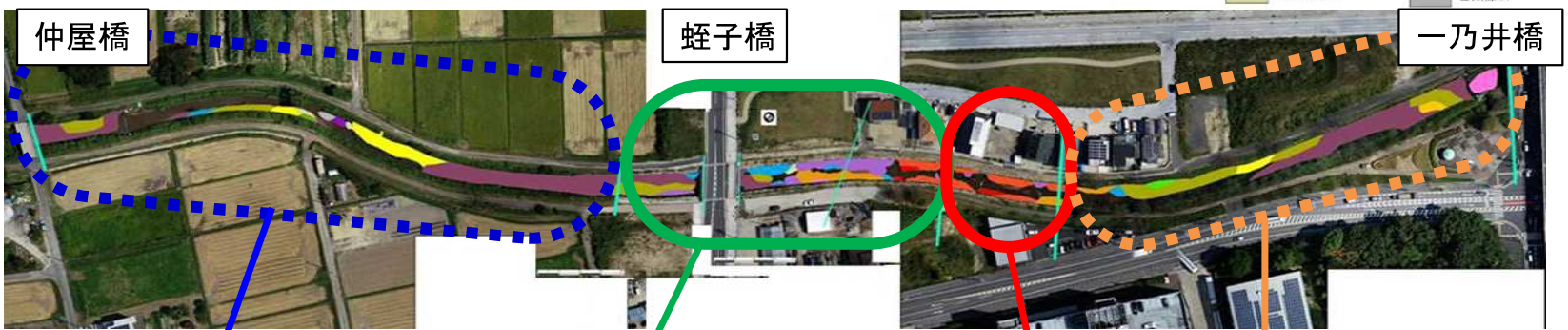
ツルヨシ、ネズミムギ、セイタカアワダチソウなど

ツルヨシ、ネズミムギなど

施工直後のため、自然裸地が多い

ツルヨシ、ヌルデ、オオブタクサなど

2019.10.1（秋）
各箇所の現況写真は10～11月撮影



ツルヨシ、セイタカアワダチソウ、オオブタクサなど

ヌカキビ、オオイヌタデ、ミゾソバなど

ケイヌビエ、ヌカキビなど

ツルヨシ、オオブタクサ、セイタカアワダチソウなど

St-2-1蛭子橋上流　2015-2017年度施工区間

10.25出水後草本が倒伏

St-2-2蛭子橋下流　2015-2017年度施工区間

写真は増水時

10.25出水後草本が倒伏

夏～秋は、草丈２ｍ以上のツルヨシが繁茂している
セイタカアワダチソウ、ネズミムギ、オオブタクサなどの要注意外来生物も確認された
河道内に植生が繁茂→流路が固定→流路の深掘り→河道内の複断面化と植生遷移が進行する可能性がある

整備区間でのモニタリング調査のまとめ

◆みお筋の変化は少ないが、開放水域が減少しつつある。

◆植生域・河床石組上流で土砂が堆積しつつある。

◆オイカワなどの地域の魚が大幅に増加した。
在来種にとって、良好な環境となっていると予想される。

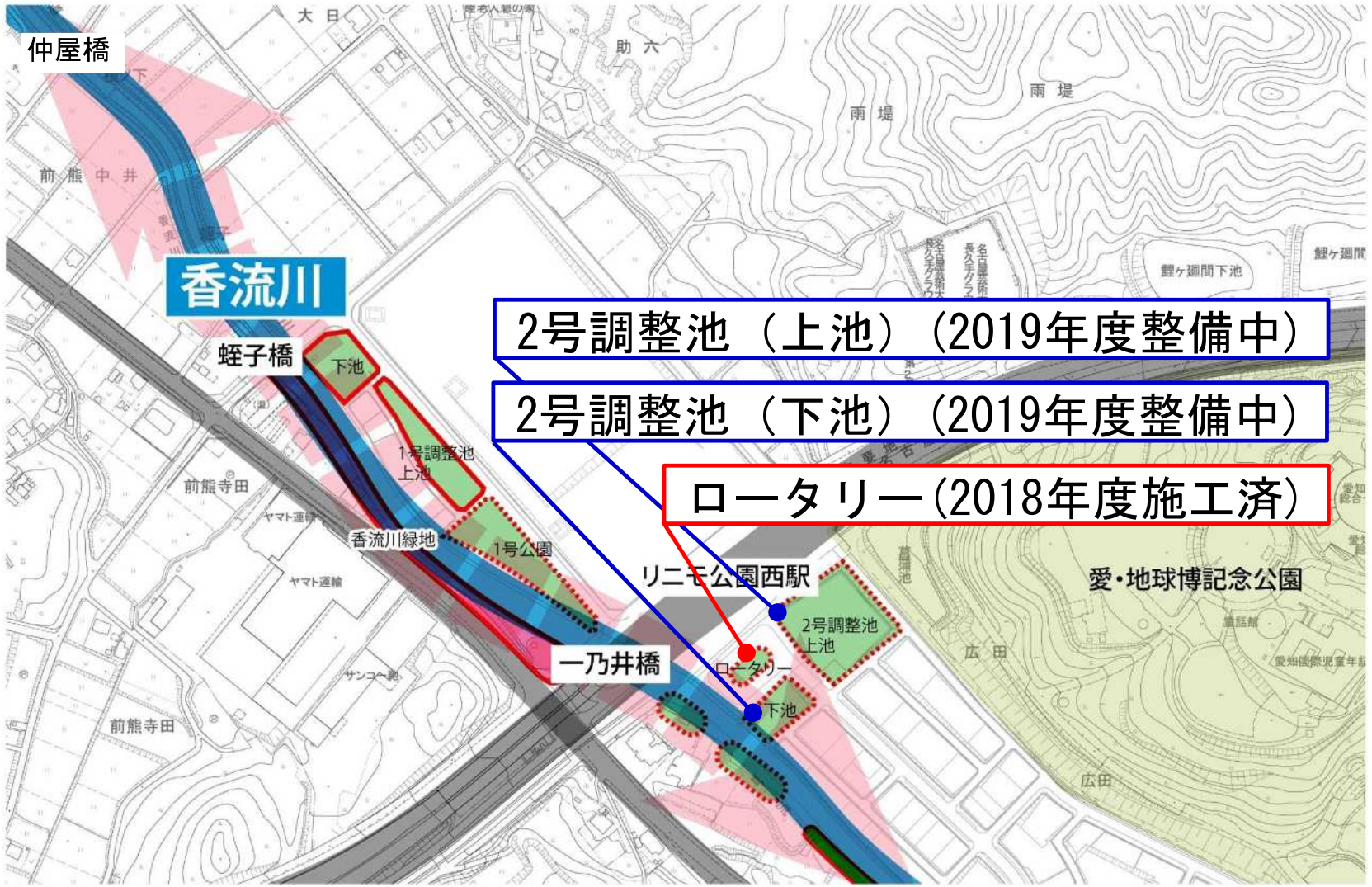
◆底生動物は整備区間で確認種が多かった。
未整備区間に比べ、多様な空間が創出されていると予想される。

◆夏～秋にツルヨシ等が繁茂している。
セイタカアワダチソウなど要注意外来生物が進出している。

植生域で土砂が堆積・ツルヨシ等が繁茂していることから、
河床の草本植物の刈り取り管理などを検討する余地がある。

順次整備を行っており、今後もモニタリング調査が必要。

2-3. 公園西駅ロータリー修景



2号調整池（上池・下池）は現在整備中。現場の状況に応じた対応を行う。

２号調整池整備中

2019.12現在

2-4. 香流川植栽整備計画

【中流域】
溝下橋の上流右岸

【中流域】

溝下橋の上流右岸　施工直後

【中流域】
多度橋～仲屋橋右岸

【中流域】

多度橋～仲屋橋右岸　施工直後

2-5. 香流川ワークショップの結果

４年前、香流川に植樹した樹木の今後を考えよう！というテーマでワークショップを実施

開催日時：10月22日（火・祝）10：00～12：00（晴れ）
開催場所：長久手市北小学校
参加者　：16名

H27年度に植栽した区間の位置図

現地確認の様子

天気に恵まれ、
樹木の緑がまぶしい
ほどでした。

樹木の横に立つと、
香流川はほとんど
見えません。

樹木の資料と見比べながら現地の樹木の状況を確認しました。

クリやドングリ、ムラサキシキブなどの実が多く見られました。

水辺の緑の回廊事業と維持管理状況について、説明を聞いた後、現地の１か所を確認

グループ討議

右岸と左岸、高木と低木などバランスを考えた計画が必要では？

もっと参加者が増えるといいです。

日頃の香流川とのかかわりや、当日の現地確認の内容を反映して、活発な意見が出された。

ワークショップで出された意見

現状の課題	計画	水辺の緑の回廊の将来像や市の香流川の緑に関する方向性が見えない。 ３本／㎡の植栽は密度が高過ぎ、配置も計画が必要だったのではないか。
	景観	川が見えず、美観が悪く、防犯上もよくない。 高木と低木のバランスがよくない。
	管理	県、市、市民の管理作業の範囲を明確にしてほしい。 自然淘汰を目指した植栽であれば、市民による管理自体が矛盾しているのでは？
目指す姿	イメージ計画	親子で水辺を歩くなど、歩いて楽しく、香流川の眺めによって心が癒される空間。 香流川が長久手の象徴となるような植栽、将来的には１本の線でつながるような植栽。 季節感のある川辺。川と堤防の植栽が一体化するような整備。
	アイデア	樹名板をつけて樹木の名前が分かるようになると、愛着がわくのではないか。 市民、子供たちで生長を観察し、記録する。 どんぐりを学校養育やイベントで活用する。
自分たちでできる管理方法		不要な樹木は大きくなる前に間引く。 プロ（専門家）の指導の下、定期的な管理を行う（枝切りや間引き等） 管理体制の構築が必要。 香流川に限らず、市内一斉清掃日を設定し、学校とも協力して子供たちも参加する。 清掃活動とあわせて、イベントを実施し、市民参加を増やす。 県、市、市民の意思疎通が必要。 管理計画を市が策定して、市民が応援する形がよい。 継続管理のため、地域貢献（管理）に対するインセンティブを検討してほしい。

ワークショップの意見・アイデアを踏まえ、今後も市民の皆さんと維持管理を継続していくこととした。

2-6. 香流川の一斉清掃活動・草刈りの実施

共催：長湫地区北部自治会連合会、長湫地区長久手小学校区自治会連合会、岩作区会、香流川をきれいにする会、長久手市土木課

１）清掃場所：西原橋から新富士浦橋

２）清掃活動実施結果

	浄化センター周辺	原邸公園周辺	全体の収集量	
日付	参加人数	参加人数	可燃・不燃ごみ	草刈り
4月27日(土)	24名	37名	約10袋分	資源収集カゴ30個分
6月29日(土)	ー	ー	雨天中止	
10月27日(日)	17名	55名	約20袋分	資源収集カゴ40個分

清掃場所位置図

浄化センター周辺

2019年4月27日（土） 参加人数24名
草刈りを実施（原邸公園周辺含む）
・可燃･不燃ごみ約10袋
・資源収集カゴ30個分

2019年10月27日（日） 参加人数17名
草刈りを実施（原邸公園周辺含む）
・可燃･不燃ごみ約20袋
・資源収集カゴ40個分

第2回は雨天中止となった。第3回は市内造園業者から参加者へ樹木剪定の講習を行った。
清掃活動及び草刈りは年3回程度を継続して行う予定

原邸公園周辺

2019年4月27日（土） 参加人数37名
草刈りを実施（浄化センター周辺含む）
・可燃・不燃ごみ約10袋
・資源収集カゴ30個分

2019年10月27日（日） 参加人数55名
草刈りを実施（浄化センター周辺含む）
・可燃・不燃ごみ約20袋
・資源収集カゴ40個分

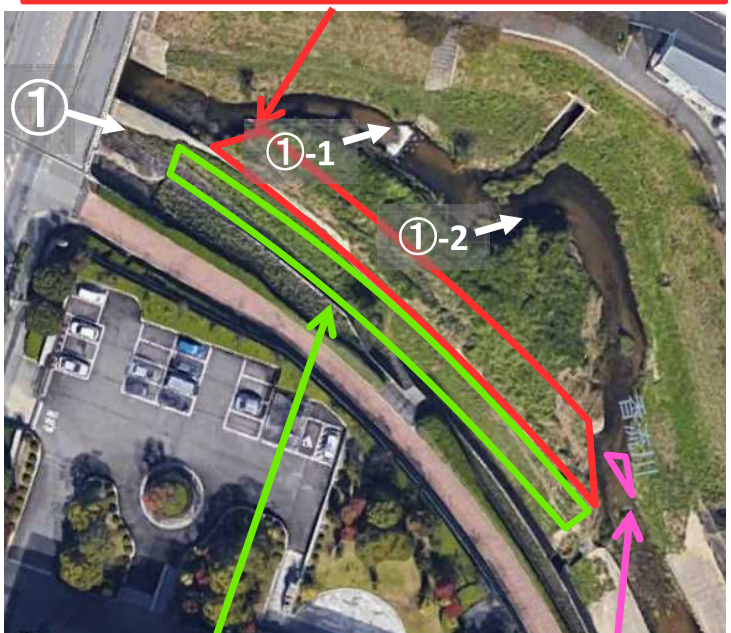
第2回は雨天中止となった。第3回は市内造園業者から参加者へ樹木剪定の講習を行った。
清掃活動及び草刈りは年3回程度を継続して行う予定

2-7. 愛知県実施事業

(1) 石田橋上流の浚渫

2017年度施工箇所

浚渫を行い、本線としての機能を回復



高水敷に堆積した土砂を撤去し、
通路を拡大する

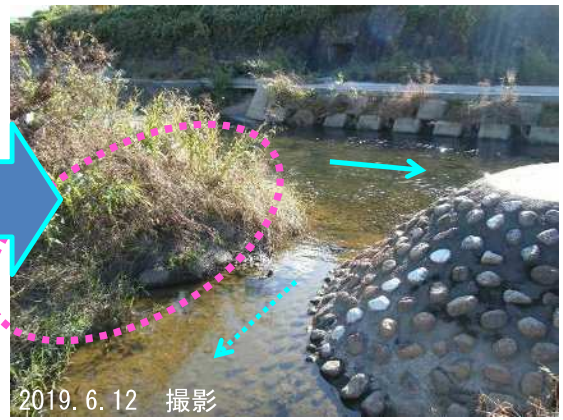
ビオトープとして作られた水路に
水が流れやすくなっている。
水制の為に、袋詰め玉石を設置。

施工前

施工後

施工約1年後

アダプティブマネジメント：堆砂状況の観察

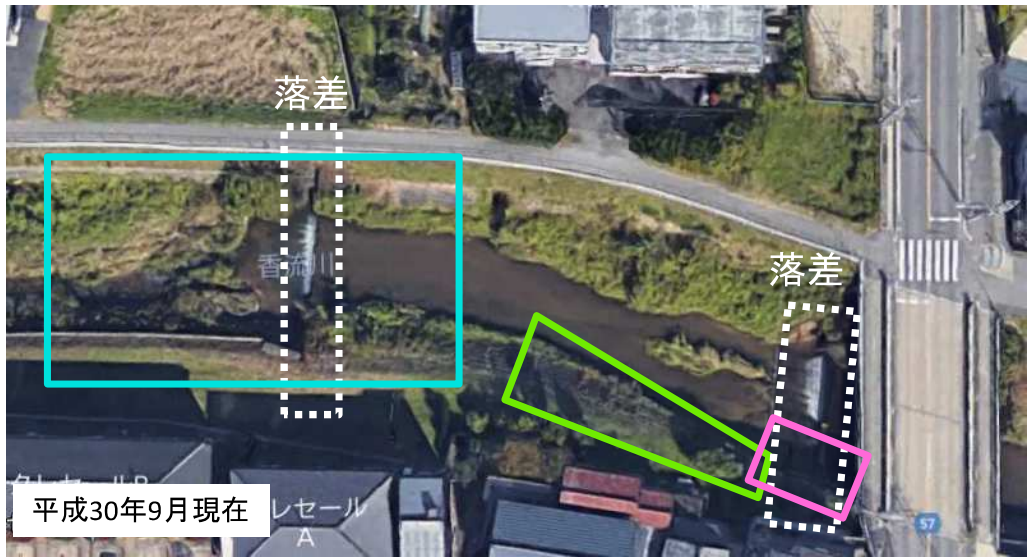


視点は中洲から下流側を見る

ビオトープに土砂が堆積

(2) 岩作橋下流の落差工

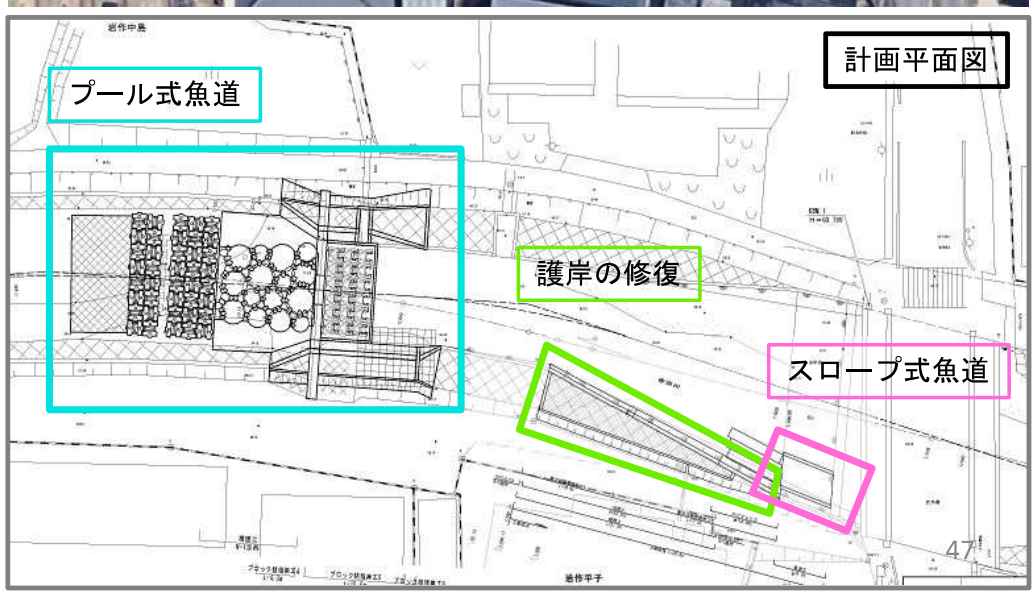
施工場所



① 既設の矢板の落差位置に
全断面プール式魚道を設置
水生生物の遡上を促す

② ずれている護岸を取り壊し、
新しく重力式護岸を設置

③ スロープ魚道を設置し、
岩作橋直下の落差も解消



完成写真（令和元年６月竣工時点）

左岸より上流を望む

① 施工前

施工直後

右岸より上流を望む

②

岩作橋から下流を望む

③ 施工前

施工直後

④ 左岸より上流を望む

香流川整備計画
（香流川を活かしたまちづくり）

3. 今年度以降の整備事業に関する計画について

3-1. 河道計画・河床環境計画

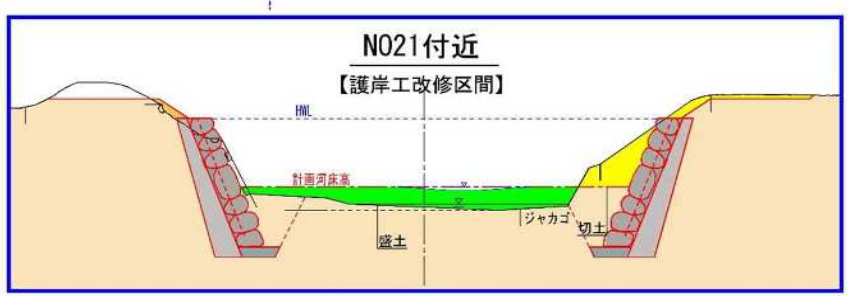
◆河道計画の目的

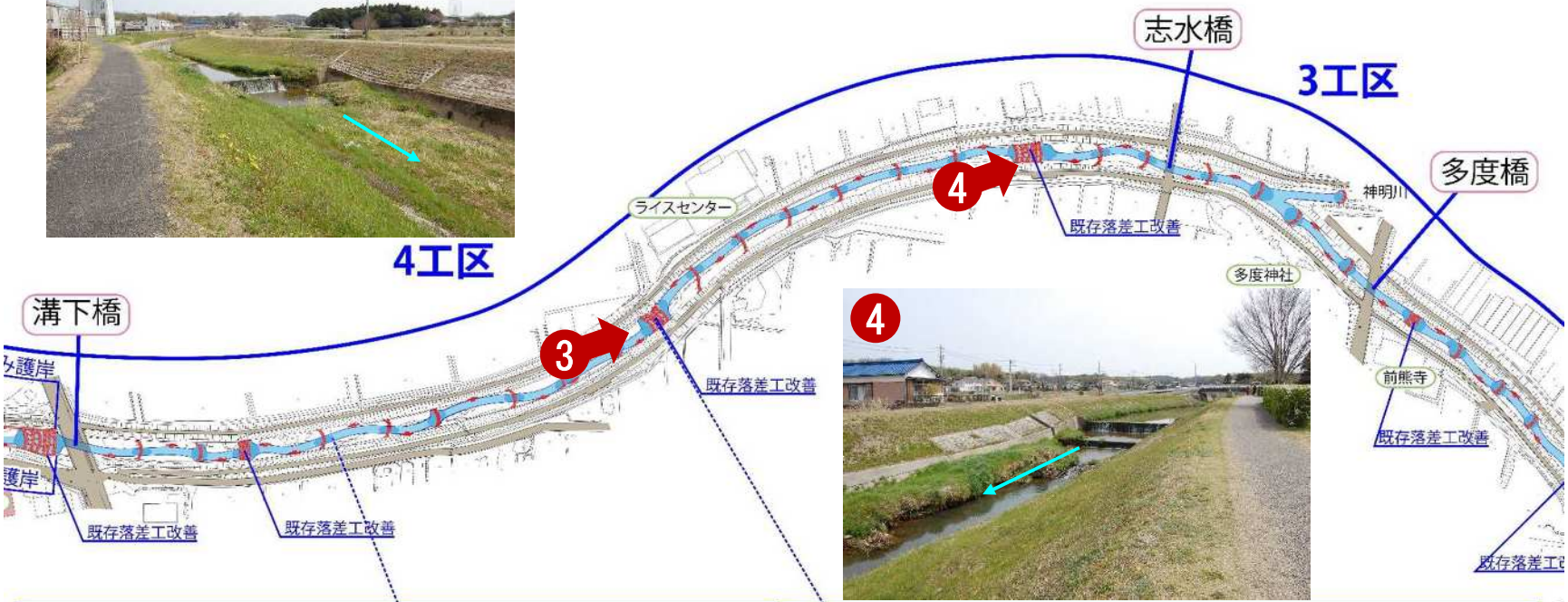
- 計画高水流量や計画高水位などの条件を精査して、計画高水流量を安全に流下させるために必要な河道断面を決める
- 前熊橋～蛭子橋間において、計画河床高より上部に堆積した土砂の掘削を計画する

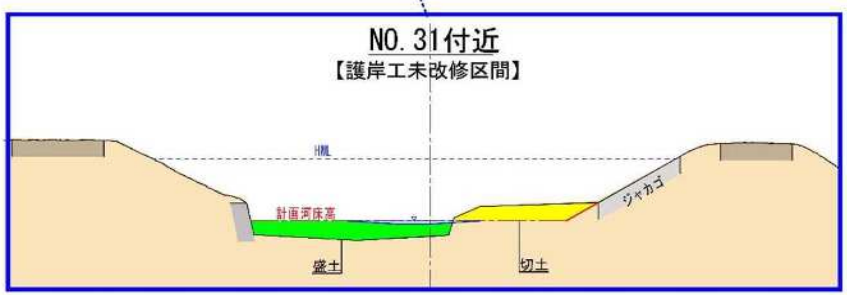
◆河床環境計画の目的

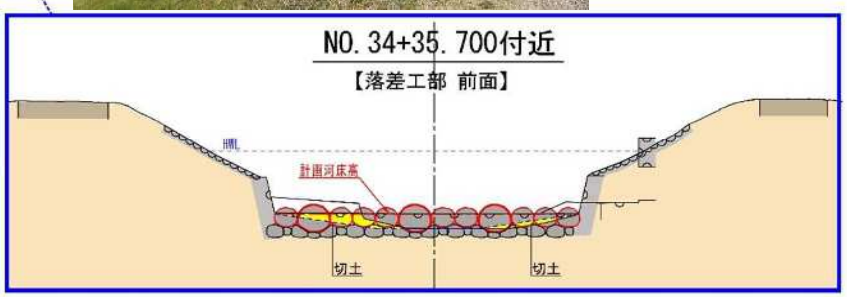
- 土砂掘削後の河床部や、橋梁計画に合わせた護岸の近自然化を図る

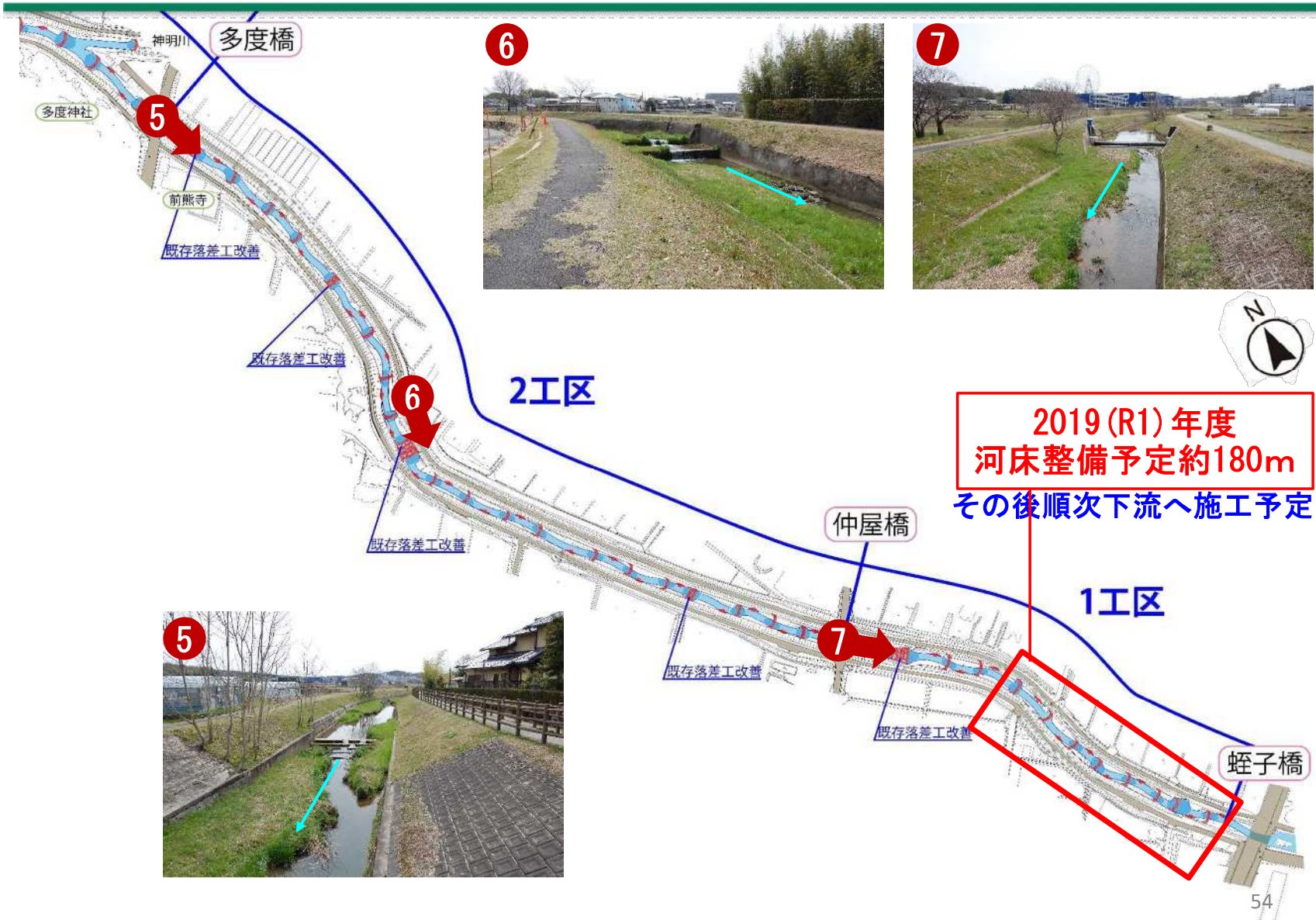
N
4工区
新設橋梁
溝下橋
石積み護岸
石積み護岸
石積み護岸
石積み護岸
あぐりん村
既存落差工改善
既存落差工改善
5工区
熊張苑
前熊苑
前熊橋
既存落差工改善


NO21付近
【護岸工改修区間】
HWL
計画河床高
ジャカゴ
盛土
切土


志水橋
3工区
多度橋
神明川
ライスセンター
4
既存落差工改善
多度神社
前熊寺
4工区
溝下橋
3
既存落差工改善
既存落差工改善
既存落差工改善
既存落差工改善


NO.31付近
【護岸工未改修区間】
HWL
計画河床高
盛土
切土
ジャカゴ


NO.34+35.700付近
【落差工部 前面】
HWL
計画河床高
切土
切土

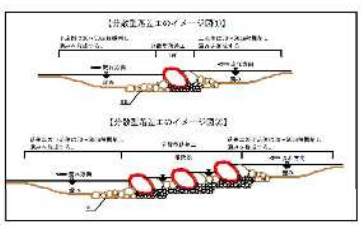

神明川
多度橋
多度神社
前熊寺
既存落差工改善
既存落差工改善
既存落差工改善
既存落差工改善
既存落差工改善
仲屋橋
蛭子橋
2工区
1工区
2019(R1)年度
河床整備予定約180m
その後順次下流へ施工予定
5
6
7
N

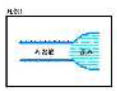
3-2. 施工スケジュール（案）

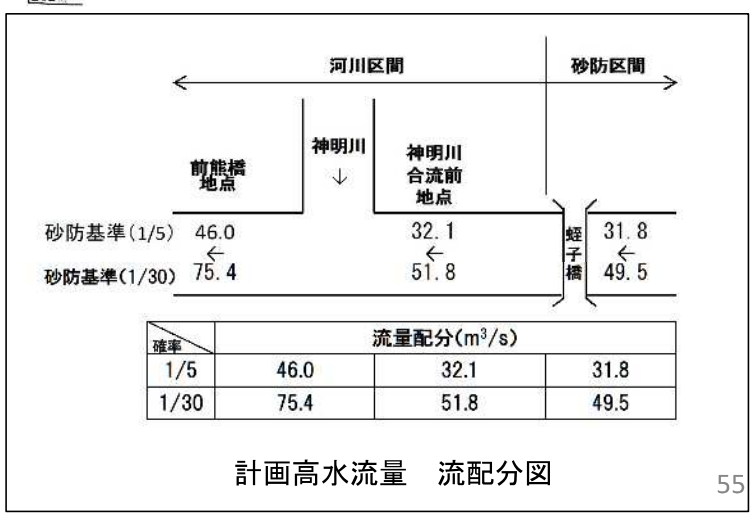
（1）蛭子橋下流

平面図

2019(R1)年度
河床整備予定約180m







確率	流量配分(m^3/s)		
1/5	46.0	32.1	31.8
1/30	75.4	51.8	49.5

計画高水流量　流配分図

(2) 蛭子橋上流

施工スケジュール

	2017(H29)年度	2018(H30)年度	2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

施工済み

これで説明を終わります